

桜 守

(広報誌第 19 号 令和 5 年)

公益財団法人 吉野山 保勝会

ご挨拶 (公益財団法人) 吉野山保勝会 評議員



いつも公益財団法人吉野山保勝会の活動にご理解ご支援をいただきありがとうございます。私は、平成 5 年に吉野山保勝会に携わり 30 年がたちました。長きにわたり保勝会の活動を行ってきましたが、時代と共に色々なことが変化していることを感じられます。朝日新聞に「吉野山の桜はナラタケ菌に侵されている」との報道を受けてから、この吉野山保勝会は全力で「吉野山の桜を守るため」進んできたような気がします。最初は何をすればよいのかさえ分からず、夜遅くまで会議をし議論をした思い出があります。無我夢中で草を刈って肥料をやっていた時代がありましたが、そういった日々を積み重ねながら、今日のこの日があるのだと考えます。先日、大和ハウスさんとの桜の奉仕作業の後の茶話会で「15 年を振り返って」という手作りの写真集スライドを見せていただきました。この 15 年の間でも色々なことが変化していることがわかりました。苗木の育て方、土壌改良の仕方、桜環境の作り方、等々。そうやって 1,300 年前の先人から我々と同じような思いで桜に願いをもって桜を守ってきたからこそ、現在も綺麗な桜が続いています。読売新聞さんとの合同事業で「吉野山サマースクール ～親子で学ぶ吉野の桜～」の中で学んだことの一つに、「地球を大切に身につけなさい！それは親からもらったものではないですよ、未来の子供たちからあずかったものなのです」という言葉がありました。私が考えるのは、この吉野山の白山桜をより良い形で次世代に受け継いでもらうようにすることが大切ではないかと思えます。

現在、日本中の桜は殆どが染井吉野であります。吉野山のように昔からの桜の名所は山桜で、「昔ながらの白山桜」をもっと日本人に知っていただきたいと考え、『昔を今にプロジェクト（「約 750 年前に嵯峨上皇は、吉野山の美しい桜の景色を京都嵐山に再現したい」との思いから、吉野山の桜を移植させた」このことを今再現させるプロジェクト）』を立て上げ、吉野山保勝会協力のもと、吉野山旅館組合と京都嵐山旅館組合青年部、嵐山保勝会、金峯山寺さん、天龍寺さんや数多くの方々の協力で令和 5 年 2 月 27 日に吉野山の白山桜 120 本を嵐山に植樹いたしました。そして多くの関係者を集め、多くのマスコミにも取り上げられました。そして、今後もこの素晴らしい吉野山の白山桜を全国に、世界に知っていただきたいと私は考えております。

私が学生の頃、東京の四ッ谷の土手で「新歓コンパ」の酒盛りをしていたとき「こんなにきれいな桜があるのだ〜〜」と、大いに感心したものでした。その時は、吉野山の山桜の素晴らしさを知らなかったのです。（葉っぱも一緒に出てくるような山桜より、花びらだけの染井吉野の方が断然きれいだと思っていました）

サラリーマンを終え、家業である旅館に戻ったとき東京から来たお客さんに「山桜で申し訳ないなあ・・・」と、うしろめたく思っていました。しかし来館したお客さんが皆、目を輝かせながら「すばらしかった！」「すばらしかった！！」と言うのを聞いて、私は「あの白山桜のどこが？ どういうふうにするばらしいのか？」忙しい旅館を抜け出し、吉野山中を初めて散策すると、谷越えに下千本の昭憲皇太后一目千本、つづら折りの下千本七曲がり、正面に中千本、右上に上千本の吉水神社一目千本、花矢倉からの見下ろす一目千本、大塔の宮上千本、回遊式に山中を散策する奥千本、上を見ても、下を見ても、右を見ても、左を見ても、前を見ても、後ろを見ても、どこを見ても、どちらを見ても、桜・桜・さくら・さくら・・・桜・桜・さくら・さくら。このとき私は「バラやチューリップのように散れ」と言われても死ねないが、「桜のように散れ」と言われれば、死ねるような気にさえなりました。西行法師が桜をこよなく愛した理由がわかるような気がしました。

「ねがわくば 花の下にて 春死なん そのきさらぎの もち月の頃」西行・「吹く風の 花を散らすと見る夢は 醒めても胸の 騒ぐなりけり」西行

一本の山桜ではなく、3万本の山桜が咲き誇るとやはり「吉野山は日本一の桜の名所」と、初めてお客さんから気づかされ、その時 白山桜は「日本人の心」、吉野山は「日本の心のふるさと」と感じました。これからも世界中の人々が皆平和であり、桜を鑑賞して幸せを実感していただけることを願います。今後とも公益財団法人吉野山保勝会のご支援をお願い申し上げます。

今年の吉野山保勝会活動の一部



京都嵐山にて植樹



ソロプチミスト奈良あすか視察



ロータリークラブによる被災地仙台へ植樹



桜の環境保護の為日本シャクナゲを谷尻へ植樹

桜基金に寄付を頂いた方々 (順不同)

皆さんありがとうございました

大和ハウス工業(株)様・俳人協会関西支部様・グラセル(株)様・プラハード(株)様・南都銀行(株)様・金峯山寺様・ソロプチミスト奈良あすか様・嵐山保勝会様・近畿大学附属小学校様・呉竹(株)様・中寫實男様・財)三菱UFJ環境財団様・ソロプチミスト奈良万葉様・森下守様・(株)大阪マルビル様・ビクタービューロー様・柿の葉寿司ヤマト様・最上稲荷様・アド近鉄様・石留石材店様・横矢芳泉堂様・山本和美様・賛助会員の皆様他

◆◆◆ 賛助会会員募集中 ◆◆◆

公益財団法人 吉野山保勝会 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430
TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshoukai@cap.ocn.ne.jp
URL: <http://www.hoshoukai.yoshino.jp>